

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 3 月 4 日作成)

小委員会名	建築アーカイブズ小委員会	主 査 名：戸田 穰 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠本委員会	委員長名：大橋 竜太
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>以下の活動をとおして建築に関するアーカイブズについて日本の現状を把握し、建築学におけるアーカイブズの考え方と意義とを学会内外へ向けて継続的に発信すること。</p> <p>1. 建築に関する国内のアーカイブズ機関の活動把握 2. 建築アーカイブズに関する国内文献等の情報整備</p> <p>初年度： ① 建築アーカイブズ機関の実務者を招いた活動勉強会の定期的な開催 ② 国内で刊行された建築アーカイブに関する目録や論文等のリスト化 ③ ①②を継続的に実施するための仕組みづくり</p> <p>2～4 年度： ①② 初年度と同様。最後に 4 年間の振り返りと、次期テーマや実施方法の再検討 ③ 現状把握と周知活動の持続可能性について、自己評価と次期活動の計画立案</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：戸田穰 (昭和女子大学) 幹事：齋藤歩 (京都大学)、藤本貴子 (法政大学) 委員：岩元真明 (九州大学)、小粥祐子 (崇城大学)、笠原一人 (京都工芸繊維大学)、勝原基貴 (金沢工業大学)、加藤雅久 (居住技術研究所)、佐藤美弥 (名古屋市立大学)、高木愛子 (谷口吉郎・谷口吉生記念金沢建築館)、三宅拓也 (京都工芸繊維大学)、本橋仁 (金沢 21 世紀美術館)、安田徹也 (神戸大学)、山崎鯛介 (東京工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 活動勉強会については 2 月 28 日に今年度の第 1 回を実施。話題提供は佐藤氏。埼玉県文書館、竹村文庫 (創宇社関連資料) に係る活動から、話題提供を行なった。年 2 回の予定であったが、1 回にとどまった。</p> <p>2. 建築アーカイブに関する目録、論文リスト改訂については、過去大会 PD 資料集においてまとめたものを改訂していくことを想定していたが大きな進捗がなかった。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 本小委員会設置当初の目標として、国立の建築アーカイブズ施設の設置を見据えた、国内の建築資料を取り巻く情報交換、アーカイブズ学にたった建築アーカイブズの確立があった。文化庁国立近現代建築資料館が設立されて 10 年を経たが、今後の日本における建築アーカイブズの定着、普及について、検討を続けていく必要がある。</p> <p>2. 会誌編集委員会 (田所委員長) による「連載：建築アーカイブズの世界」に協力し国内の建築アーカイブズを紹介することとなった (2024 年 4 月号より)。</p>